

平成三十年

7月号

山岳救助隊 ニュース



埼玉県警察
山岳救助隊
秩父警察署
Tel.0494-24-0110
小鹿野警察署
Tel.0494-75-0110

本紙は埼玉県警察ホームページ【暮らしの安全 → 山岳情報 → 山岳救助隊ニュース】に掲載されています

平成30年【5～6月】埼玉県内の山岳遭難発生状況 件数7件8人（重傷1人・軽傷3人・無事4人）

発生日	山岳名	PT構成	年齢・性別	遭難状況等	死傷別
5月1日	両神山	4人	80代・男性	上落合橋へ下山中、行蔵坊付近で疲労により行動不能	無事
5月5日	伊豆ヶ岳	3人	10歳未満・男児	山頂付近の岩場で休憩中、バランスを崩し滑落	軽傷
5月13日	両神山	単独	50代・女性	下山中、雨天で濡れていた岩場で足を滑らせ、負傷	重傷
5月25日	霧藻ヶ峰	単独	50代・男性	テープが巻かれた立木を登山道と勘違いし道迷い	無事
5月29日	仙元山	2人	70代・男性 70代・女性	顔振峠から東吾野駅へ下山中、尾根に入り込み道迷い	無事 軽傷
5月31日	藤棚山	単独	50代・女性	午後3時入山、日没迫り、沢を下って道迷い	軽傷
6月4日	三峰山	単独	10代・男性	午後5時入山、空腹、疲労で行動不能	無事

早出早着の基本

早出早着とは、朝早い時間に出発し、目的地に早い時間に到着することです。これは、登山における様々なリスク（日没による道迷い、雷雨との遭遇等）を回避するため、登山をする上で守るべき基本の一つであり、早出早着を心掛けることは、自分の身は自分で守るという「セルフレスキュー」の第一歩となります。

県内の山岳遭難発生状況（5～6月）を見ると、「午後3時入山」、「午後5時入山」と、夕方近くに入山した結果、遭難している事例が散見されます。入山が遅れた理由はともかく、登山計画を立てるにあたっては、山岳地図を確認し、目的地までの到達時間、日没時刻を調べ、更には山の中で何時まで活動ができるのかを事前に調べておく必要があります。特に埼玉の山では、上空が開けているような場所は限られ、空を仰いでも木々が生い茂っているため、日没時刻よりも早い時間に辺りが薄暗くなってくることも計算しておきましょう。

近年、「バリエーション登山」を始め、「トレイルランニング」等、登山の形態は多様化されていますが、夜間に登山する「ナイトハイク」は、必要な装備や知識、経験がないまま行うことは非常に危険です。

昨年の秋には、夜間に入山して、照明具がなく行動不能となって救助したケースもありました。「山の中の暗い」は、「街中の暗い」とは違い、本当に真っ暗で、月明かりで照らされていなければ、周りの景色はほぼ暗くて見えません。照明具を使わずに暗闇を歩いた場合、「分岐点の見落とし」、「崖に気が付かずに滑落」、「登山道ではない尾根が道に見えてしまう」等、非常に危険が高いものとなります。また、照明具として携帯電話のカメラのフラッシュの明かりに頼っていると、いざ救助要請するときに電池切れといったことにもなりかねません。万が一の場合に備えて、ヘッドライトをザックに入れておきましょう。

登山中の「焦り」は、判断力を鈍らせます。この状態に陥れば、たとえ登山歴が長い登山者であっても下山を急ぐあまり、「登山道外の斜面を下る。」、「沢を下る」といった通常では考えられない判断を下し、山岳遭難に陥る場合があります。

登山中の「焦り」を生まないためにも時間にゆとりのある登山を心掛けてください。



二子山部屋の力士の方たちと二子山でキャンペーンを実施

夏山の山岳遭難の防止

● 朝早い時間に出発、目的地に早く到着（早出早着の基本）

山は平地と比べて積乱雲が発生しやすく、午前中晴れていても午後から急激に天候が悪化することがあります。天候の急変（雷雨等）に備え、早い時間に目的地に到着できる時間にゆとりのある登山計画を立てましょう。

● 雷雲が接近、そのときに…

山小屋等の屋内に逃げ込むのが最善の策です。他に避難する手段がなく立木の下での雨宿りは、落雷を受けた樹木から人体へ雷が飛び移る「即撃雷」に巻き込まれる危険があるため注意が必要です。

立木のとっぺんを45度以上の角度で見上げる範囲で、木から4m以上離れた「保護範囲」に退避し、姿勢を低くして、雷雲が通過するのを待つから安全な場所に避難しましょう。



沢登り訓練の様子

● 万全な装備を準備、ヘルメット装着の勧め

万が一の場合に備えビバーク（緊急時に野宿すること）に耐えられる最低限の装備を携帯しましょう。また、ヘルメットを携行し、岩場や痩せ尾根、急な斜面を通過する際は、転倒・滑落・落石などの危険から身を守るためにヘルメットをかぶりましょう。

● 夏場の熱中症対策

沢や水場がある山なら水を補充する機会がありますが、湧水を当てにしていると、時期によっては枯れていることがあります。水分は多めに準備し、塩分も適度に補給しましょう。

● 体調不良は事故の元

体に不調を感じたら、無理をせず引き返す決断や、登山自体を延期することを考えてください。体調に不安を感じながらの登山は急病、道迷い、滑落といった山岳遭難を引き起こす原因にもなります。



ミヤマダイヤモンドソウかな？

● 登山届の提出

登山届は、山岳遭難が発生したときに警察による捜索、救助活動を迅速に行うための手掛かりとして活用するものです。低山であっても提出を心掛けましょう。

携帯版 登山届

★携帯電話の電波が入る場所で、いつでも登山届を提出することができます。

★届出の内容は必要最小限の入力となっています。

★埼玉県内の山登り等を計画している方は、ぜひご利用ください。

スマートフォン用



携帯電話用

~~いわゆる「ガラケー」~~



※ 注意 ※

平成30年7月1日をもって、
・従来型の携帯電話（フィーチャーフォン）
・android4.4以前のスマートフォン
・ios4以前のスマートフォン
を利用した、電子申請による登山届の提出のサービスは終了しました。